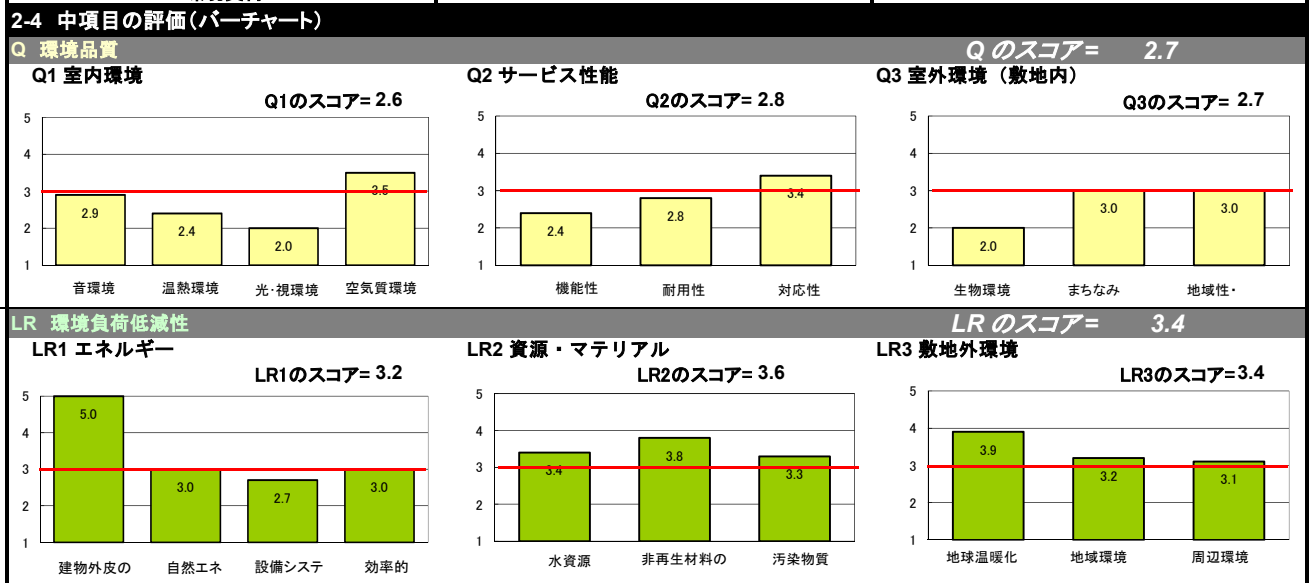
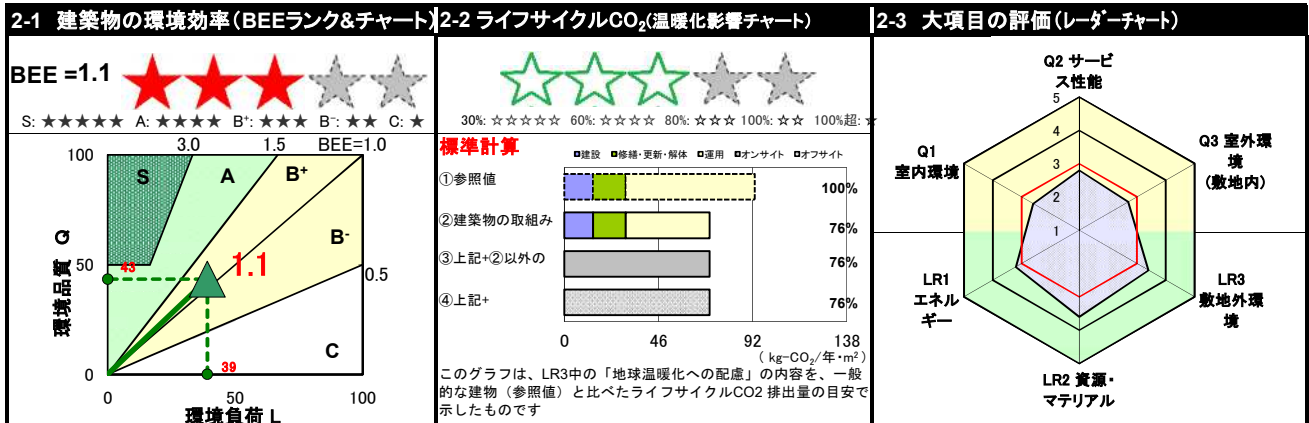


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	神戸製鋼所藤沢事業所 溶接研修センター新築工事	階数	地上2F
建設地	神奈川県藤沢市宮前裏河内100-1	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定なし	平均居住人員	45 人
地域区分	7地域	年間使用時間	1,950 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2025年1月24日
敷地面積	3,226 m ²	作成者	清水建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	1,475 m ²	確認日	2025年1月24日
延床面積	2,357 m ²	確認者	清水建設株式会社一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・ 藤沢市に建築される2階建ての事務所(溶接研修センター)である。 ・ 材料使用量を削減できる工法やリサイクル材を積極的に採用し、資源・マテリアルの保全に配慮している。		-
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・ F☆☆☆☆材料の採用や十分な換気量の確保により、空気室環境へ配慮している。	・ 防汚性の高い仕上材の採用や耐用年数の長い内装材を採用し、建物の機能性、耐用性を高めている。 ・ 高い階高を確保し、ゆとりある空間の創出を図っている。	・ 特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・ 断熱性の高い建材を採用し、建物外皮の熱負荷抑制に配慮している。	・ 材料使用量削減につながる工法やリサイクル材の採用により、資源保全に配慮している。 ・ 節水器具採用による水資源への配慮、ノンフロン断熱材採用による汚染物質への配慮を行っている。	・ 燃焼機器の設置を避け、大気汚染防止に配慮している。 ・ 周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画とし、光害への配慮を行っている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される